

皆様、お変わりなくお過ごしですか？

美山町では夜は寒くなりました。でも南向けのカフェスペースは、晴天だと昼間の太陽で温められ、夜になっても外より10度位 温かいです。(例えば、10/28の夜10時、外気温が7° 室内は18° でした。) 畑仕事も順調に進み、秋野菜、冬野菜が元気に育っています。でも夏の間にガーデンにたくさんいたカエルはほとんど姿を消しました。菜園作業中に土を掘ると、すでに冬眠にはいつていたカエルが出てくることがあります。「ゴメンネ」と声をかけてそっと埋め戻します。ヘビももう冬眠にはいったらしく、姿を見せなくなりました。



写真①

さて今日はヘビのお話です。我が家の池(ビオトープ)がカエル天国になる春夏秋冬、ここはヘビの「食べ放題レストラン」になります。かつては大きさの違う3匹のシマヘビの犬(だい)ちゃん、中(ちゅう)ちゃん、小(しょう)ちゃんが、かわるがわる食事に来ていました。カエルを捕まえるのは、そう簡単ではなさそうですが、今年の夏、別のヘビが捕獲したところを写真に取りました(写真①)。捕まったカエルは独特の鳴き声をたてるので、すぐわかります。

ヘビはすばしこいけど、とてものんびりしたところもあります。ある日、外出から帰宅して玄関前のスロープを歩いていたら、「木の枝を踏んだ感じ」がしました。振り返ると「ヘビ!」。そのヘビはガーデンでよく見かける子でしたが、以来私を見ると逃げます。美山にはマムシも多くいて要注意です。去年の夏、マムシが家の中にいつのまにか入っていて、階段の下にいました! それを2階から降りてきた夫が、気づかず踏みました。「ゴムホースがこんなところに?」と思ったとのこと。運よく噛まれなかったのですが、それからが大騒ぎ! 夫はなんとか外に出そうとほうきをもって追いかけて、マムシはあちこち逃げ回り家具の隙間に潜り込みます。ようやく玄関の靴箱のところで追いつめて、その隙間に逃げ込んだところに、私が外出から帰宅。2人でマムシを無事外に出しました。

一般にヘビはあまり出会いたくない生き物です。でももっと警戒しなければならないのがスズメバチです。池のそばのヤマボウシの実が赤く甘く熟す頃、スズメバチがそれを目当てにやってきます。攻撃的で私がそばにいくと頭の周りをホバリングして威嚇するので、私は静かに離れます。そのうち先方も私に馴染んだのか、威嚇行動をあまりしなくなりました。でも警戒が必要。一方、アシナガバチはおとなしく、ガーデンの害虫を捕獲してくれる用心棒です。



写真②

居てほしいけど(シロアリを食べてくれるので)私の目につくところには出てほしくないのがムカデ! 実は私、ムカデに2回首筋を這わられたことがあります。2回とも刺さなかったもので、殺さずに逃がしてやりました。(もしかするとガーデンの生き物は私に馴染んでいて、一緒に暮らしている仲間だと思っているのかも?)



写真③

以上、アースガーデンの生き物の少しこわ~いお話でした。9月にはブドウがたくさんとれ(写真②)、今はサルナシが鈴なり(写真③)です。サルナシは森の果物で、美山の山で自生していたものをつるを育て、ようやく初収穫できました。キウイの原種と言われていますが、キウイより美味しいのです。ではまた。